

えりも町議会

議会だより

令和5年5月1日

No.45



庶野小学校で1名の新入学児童

庶野小学校の入学式が4月7日に行われました。新入学児童の児玉来玲杏（くれあ）さんは、在校生29名や先生、来賓の方々に迎えられ、学校生活をスタートさせました。これからは勉強はもちろん、いろいろな行事やスポーツなどに一生懸命取り組んでいくことになります。来玲杏さん、元気に頑張ってください。

同日には笛舞小学校3名、えりも小学校19名、えりも岬小学校4名の入学式も行われました。新1年生27名の皆さん、おめでとうございます。

P 2 令和4年度3月定例会
補正予算・条例改正ほか

P 3 予算特別委員会 質疑

P 4-5 令和5年度予算の概要
予算特別委員会を終えて

P 6-10 一般質問6名 10件

P 10-11 全員協議会
産業民生常任委員会
所管事務調査

P 12 「この人に聞く」
漁船乗組員
千葉 海星さんにインタビュー

えりも町議会第6回定例会

補正予算

◎令和4年度
一般会計(歳出)

・映画「北の流水」(仮題)
協賛負担金 450万円

企業版ふるさと納税の寄付金を映画製作準備委員会へ支出

・水産業競争力強化緊急施設整備事業補助金
1億6070万7千円
えりも漁協がえりも岬地区で整備を進めている水産物荷さばき施設設置事業に対する補助金



建設が進む「えりも岬地区の水産物荷さばき施設」

・特別養護老人ホーム運営費補助金
2060万1千円

事業運営資金が不足するため追加計上

・道路維持費

850万円
町道の除雪費用に不足が見込まれるため

灯油代や電気料高騰により公共施設の光熱費「総額420万7千円」を追加

役場庁舎

71万円

福祉センター

11万6千円

各小学校

177万6千円

中学校

48万6千円

高校

60万4千円

町民体育館

51万5千円

条例改正

えりも町漁村センター
えりも漁協旧事務所
ともに解体へ

えりも町水産施設等解体事業に係る分担金徴収条例の制定

えりも町漁村センターとえりも漁業協同組合旧事務所にはアスベストが使用されているため、解体実施設計を要する。

接続している両施設をそれぞれで設計委託することは効率的ではないため、町が一括して設計業務を委託し、えりも漁協旧事務所にかかる経費を分担金として、えりも漁協から徴収するための条例



えりも町漁村センター
(写真奥側が漁協旧事務所)



えりも漁協旧事務所
(写真奥側が漁村センター)



二つの建物は一部がつながっている
(写真・中央部)

人事

・えりも町固定資産評価審査委員の選任

えりも町字本町
芳賀 則雄(62歳)
再任

予算特別委員会

定例会 最終日の3月17日、町から提示された令和5年度予算案に対する質疑応答が行われました。各委員から多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。(1万円未満四捨五入)

ふるさと納税

運営委託 7228万円

石川委員

問 一度寄付をいただいた方とは委託事業者を介さず、直接手続きできないか。

答 直接できないこともないと思うが現時点ではしていない。検討する。

橋本委員

問 委託料が昨年より900万円増えている理由は。

答 「ふるさとチョイス」の委託料が5%から10%に上がったため。

灯台公園トイレ

灯台公園公衆トイレ解体工事 600万円

建替工事实施設計委託 495万円

竹内委員

問 建て替えの時期・場所は、トイレの規模は。

答 昆布採取期間終了後に解体し、令和6年度に同規模のトイレを同じ場所に建てる予定。

神田委員

問 建て替えではなく、内部改装ではだめか。

答 新トイレは水洗になるため、内部改装ではなく建て替える必要がある。

漁業担い手

漁業担い手支援補助金 1500万円

上野委員

問 庶野・目黒は同居家族でも組合員になれるが、近浦くえりも岬はなれない。新規就業者と継承者では補助金に差があり、制度の見直しが必要では。

答 制度が始まり今年で2年目になるので、検討していきたい。

公共交通

生活バス路線運行委託 726万円

神田委員

問 庶野く広尾間はJR北海道バスに広尾町と折半で運行委託しているが、広尾町も委託を継続していく考えか。他の交通手段は考えられないか。

答 広尾町と協議の上、運行委託している。他の手段も検討したが現時点では現状維持しかない。



利用者の減少に加え、人件費や燃料価格の高騰で委託料増額も懸念されるバス運行委託

公共交通確保対策事業補助金 300万円

石川委員

問 日交ハイヤーは現在1名体制である。2名体制であれば、待ち時間の短縮や早朝・夜間の利用

もできる。そのための補助金ではないのか。また、営業時間内であっても断られると聞く。

答 運転手が確保できず現在の状況にある。時間厳守の徹底とともに2名体制にできるよう日交ハイヤーと協議していく。

商品券発行補助

プレミアム付き商品券発行事業補助金 400万円

大坂委員

問 前年度600万円から減額している理由は。

答 今年度は赤潮発生でプレミアム率3割としたが、来年度は通常率の2割にする。

水道管凍結・破損

町営住宅・職員住宅修繕 350万円

橋本委員

問 水を落とさない、床下換気口を塞いでいない等で水道管が凍結し破損事故が起きている。入居者に凍結防止の周知を。

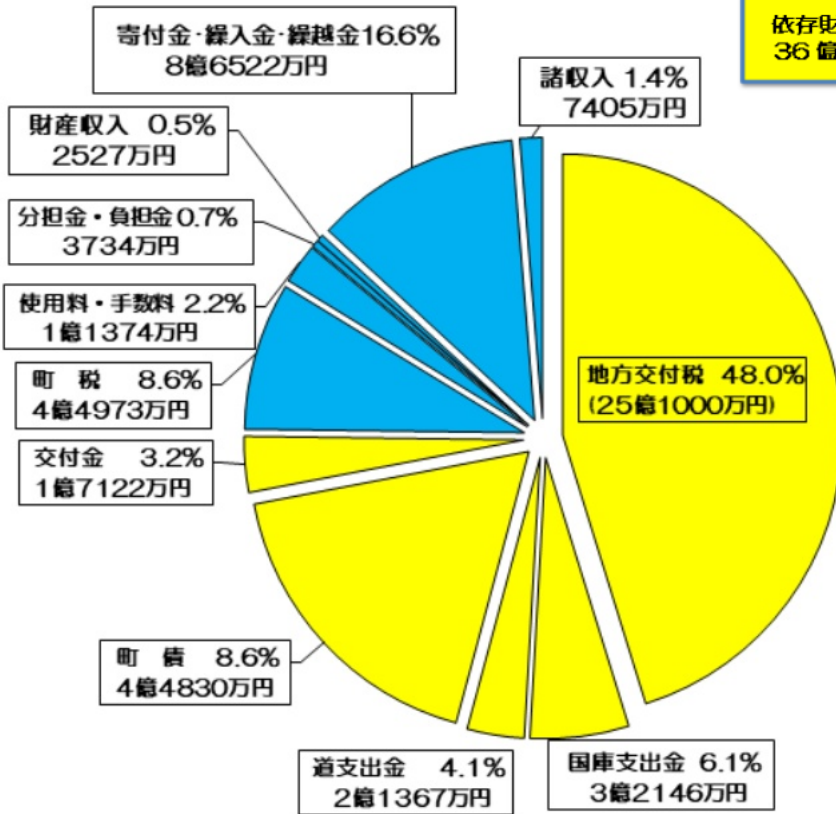
答 冬期間に水道管が凍結する理由は、不注意と施設の老朽化にある。周知は今後も継続していく。

前年度比 1億8000万円増

歳入
52億3000万円

自主財源 30.0%
15億6535万円

依存財源 70.0%
36億6465万円



本年度の一般会計予算は52億3千万円です。
大型事業の防災行政無線の整備が終了した一方、水産物荷さばき施設（えりも岬地区）の整備、特別養護老人ホームへの運営費補助、えりも小給食施設増築、大和教員住宅建設などで、前年度比1億8千万円の増となりました。
（主な事業内容は別枠に掲載）



コロナ禍などの影響で運営が厳しさを増す「やまと苑」

「●本年度の主な新規・継続事業」

- ◎ **令和3年発生赤潮による漁業被害対策（継続）** 8,418万円
 - ・ウニ種苗購入費用に対する補助金 3,168万円
 - ・水産多面的機能発揮対策事業負担金 5,250万円
- ◎ **町道高校通り線改良事業（継続）** 1億6,200万円
 - ・福祉避難所に指定されているえりも高校への道路整備
- ◎ **町道旭ヶ丘7号線土砂災害防止事業（継続）** 4,800万円
 - ・土砂災害を防止するための落石防止工事
- ◎ **灯台公園公衆トイレの建替（新規）** 1,155万円
 - ・老朽化が著しい公衆トイレ「スマイル」の建て替えに向けた設計委託及び施設解体工事
- ◎ **衛生センター解体事業費負担金（継続）** 4,407万円
 - ・日高東部衛生組合し尿処理施設解体費の一部負担
- ◎ **水産施設等解体設計委託（新規）** 1,200万円
 - ・老朽化が著しい「漁村センター」と「えりも漁協旧事務所」を解体するための設計委託
- ◎ **特別養護老人ホームへの運営費補助（新規）** 2,000万円
- ◎ **地域防災計画等改訂事業（新規）** 1,080万円
- ◎ **えりも小給食施設増築事業（継続）** 5,664万円



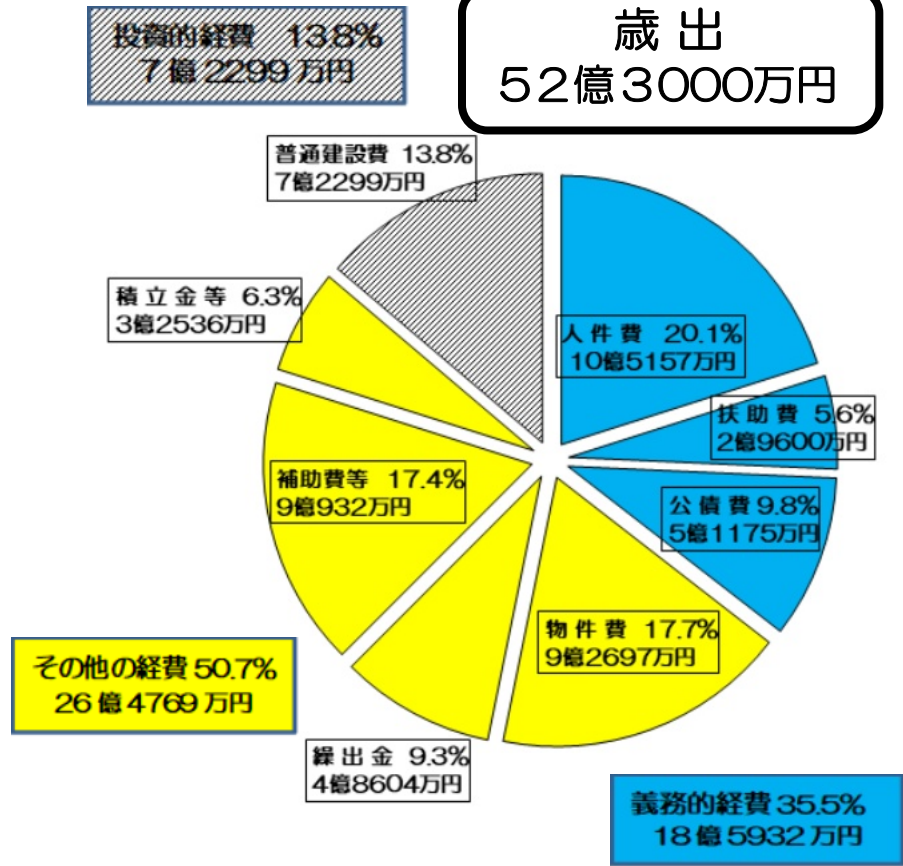
解体に向けた設計が行われる「漁村センター」と「えりも漁協旧事務所」



建て替えが決まった灯台公園公衆トイレ「スマイル」

令和5年度一般会計予算

歳出
52億3000万円



予算特別委員会を終えて

委員長 成田 一人

令和5年度の当初予算の審査という大変重要な案件の審議ではありましたが、委員並びに理事者・説明員のご協力を賜り、無事全会計の審議を終えましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、長らく続いた新型コロナウイルス感染症も今は小康状態となっており、屋内外の活動も活発化している傾向にあります。また、まだまだ予断を許さない状況にあります。

このような中において、本年度の予算審議・審査の中で、それぞれ建設的な意見や指摘がありました。これらを十分に踏まえ、今後の町政の発展に役立てていただきますよう、委員をはじめ理事者、説明員皆様切にお願いを申し上げます。



特別会計の新規事業

- ・ 診療所特別会計
スプリンクラーの設置が義務付けられた
国保診療所



- ・ 下水道特別会計
設備等の更新時期が近づいている
「浄化センター」



● 予算総括表

単位(千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,230,000	180,000
国民健康保険特別会計	980,000	5,000
簡易水道特別会計	173,000	-21,000
診療所特別会計	338,000	-29,000
下水道特別会計	211,000	17,000
介護保険特別会計	484,000	-16,000
後期高齢者医療特別会計	74,000	-2,000
小計	2,260,000	-46,000
総計	7,490,000	134,000

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

問 AEDの設置、拡充を

答 未設置地区、設置を検討

問 上野 議員



上野 陽司議員

町内のAED（自動体外式除細動器）は、本町・新浜地区に多く設置してある。

万が一の時、心肺蘇生を始めるまで5分を経過すると大幅に生存率が低下すると言われている。

①町の中心部から離れた地区は、救急車の到着に時間もかかるため、AEDを生活館などに設置しては。

②各学校のAEDを地域で利用できないか。

答 町民生活課長

①町内には、笛舞1台、本町5台、新浜5台、えりも岬2台、庶野2台、目黒1台の合計16台、主に町の中心

答 学校教育課長

部や学校に設置されているが、生活館等には設置されていない。現在、未設置の近浦大和、歌別、東洋地区に設置を検討する。

②町内の各学校に1台のAEDが設置してある。原則として、児童生徒の不測の事態に備えたものではあるが、地域で必要な場合に貸出しは可能である。

平日は学校に教職員がいるため貸出し可能だが、休日や夜間は不在のため、校長又は教頭が在宅していれば対応可能と考えている。



漁協庶野支所に設置のAEDは、ガラス扉の中にあり、いつでも取り出し可能である

問 おか拾い昆布業者にも追加支援を

問

問 竹内 議員



竹内 孝文議員

答

追加支援の考えはない

「おか拾い昆布業者」は何戸か。

②「おか拾い昆布業者」を給付対象外とした理由は。

③6月を給付対象外とし、12月を給付対象としたのはなぜか。

④2人乗り採り昆布業者（庶野・目黒）を給付対象とした理由は。

⑤物価上昇対策から外れた「おか拾い昆布業者」を追加で給付する考えはないか。

答 産業振興課長

①給付対象外となつたのは96件である。

②③漁協と協議する

中で、船での燃油の使用量を考慮し、おか拾い業者は給付対象外としたが、2回目の給付

において、すべての拾い昆布業者を対象とすることで調整した。

④2人乗り採り昆布業者は、それぞれが組合員で漁業権を持つているため給付対象とした。

⑤燃油の使用量等を勘案し給付対象と決めていることから、追加で支援する考えはない。



おか拾い昆布業者は、6月に議決した物価上昇対策の給付対象外

昨年6月に「物価上昇対策」、12月に「工



橋本 維広議員

問 水道事業の展望は

答 老朽化に注視し、耐震化を随時更新

問 橋本 議員

今後の水道事業は、将来にわたり、安全な水の安定供給を維持するため、水道の基盤強化を図ることが必要であると考える。

①町内で水道管の老

朽化、未耐震箇所の破損・漏水が見受けられるが漏水対策は。
②浄水場を始めとする水道施設の老朽化対策と耐震化をどのように進めていくか。
③IT化や省力化のために、スマートメーターを導入しては。

答 建設水道課技術長

①漏水箇所は、配水流量データを確認し、通常より流量が多い場合、漏水が疑われるため、水道本管のバルブを閉鎖する方法で特定する。
早期特定には、専門業者に調査を依頼している。

②3つの浄水場は、法定耐用年数が60年で一番古い西部浄水場は57年が経過している。国の浄水場実使用年数は65〜90年で、今後65年を目途に更新を検討する。
それまでは、日々の

施設点検を徹底し、耐震診断も考慮しつつ、適切な維持管理に努め、当該施設の延命に努めていく。

③スマートメーターは検針作業が不要で、データは随時把握できるため、宅内漏水の早期発見が可能となるなどのメリットがある。

スマートメーターの導入は全国的に多くないが、厚生労働省も推進しており、近隣町村の導入状況も見ながら今後検討していきたい。



順次、地震に強い配水管に更新中

問 橋本 議員

問 ゴミの細分化やリサイクルは

答 適切なゴミ処理を周知する

今後どうやってゴミを減らすか、また、リサイクル率を上げていくかが問題となるが、
①町のリサイクルセンターの稼働実績と今後の課題は。
②歌別の清掃センターは、老朽化し度々改修工事が行われているが、ゴミの細分化、リサイ

答 町民生活課長

クル率を高めれば、ゴミの焼却が減り建物の損傷・劣化等が防げるのではないかと。
③子どもの使用済みつは重くかさばるが、子育て世代の負担軽減のため、無料や減額などを考えては。

①令和3年度実績は、稼働日数309日、搬入量177トン、リサイクル率約95%、リサイクル金額は9万5488円である。

課題としては、特にプラスチックの分別マナーが良くなく、洗浄が不十分なものがあること。

中には、リサイクル用の袋の中に生ゴミを含む可燃ゴミなどが隠すように入れられているなど、著しくモラルが低いケースが見受けられる。
燃やせるゴミとして出されるペットボトル

が少なくないことから、町広報紙等を通じて意識啓発を図っていきたい。

②分別マナーモラルの欠如に加え、施設建設から30年以上が経過していることなどから、今後の施設そのものの在り方も踏まえながら検討していきたい。

③国のこども家庭庁が発足されることも契機として、今後の検討課題としていきたい。



清掃センターは、老朽化が著しく度々改修工事が行われている



大坂 庄吉議員

福祉センター・町民体育館の改修は

修繕の実施と大規模改修を視野に入れて検討

改修を含めた今後の方向性は。

答 社会教育課長

福祉センターは、令和3年9月議会で建築物修繕措置判定手法を用いた劣化状況調査を実施し、構造上の改修は計画していないと答弁した。

当施設は、令和22年に70年の耐用年数を迎えるため、特定建築物定期報告の結果を踏まえながら維持管理をし、大規模改修の検討を進める。

町民体育館は、45年の耐用年数を令和8年に迎える。

劣化状況調査では、Eランクの壁、塗装等大規模修繕が必要と診断され、令和4年3月に緊急避難場所に指定されたことなどから、

「公共施設長寿命化個別計画」に沿って、必要な修繕の実施と大規模改修を検討していく。

問 大坂 議員

福祉センターは建設から53年、町民体育館は42年になる。部分的に修繕はしているが、

送迎バス安全装置の 取り組み方は

年度初めに早急に取り組む

問 大坂 議員

幼稚園や保育所、認定こども園などの送迎バスにおいて、子どもの車内置き去りを防止する安全装置の設置が4月に義務化される。バス1台当たり上限17万5千円補助されるが、町はどのように取り組むのか。

答 町民生活課長

昨年12月議会で、国からの詳細な通知を待つて可能な限り早期に設置したいと答えた。

保育園児の送迎バスにも安全装置を

国からは令和6年3月までに設置するよう示されており、経費は令和5年度の当初予算に計上済みである。年度初めに早急に着手したいと考えている。

春のイベントは 令和7年度以降に 実施したい

問 大坂 議員

えりもの三大イベントの一つである「うに祭り」の再開は、ウニの資源回復が長引くことから困難な状況である。

昨年6月議会一般質問で、他の魚種で春のイベントを開催することは可能との答弁だったが、漁協と協議・検討したのか。

また、「ホツキ祭り」などのイベントはできないか。

答 産業振興課長

ホツキを含めた春に水揚げされる魚種でのイベントの開催を漁協と協議・検討したが、春ウニ以上の集客は見込めないのではないかと結論に至った。

令和4年に放流したウニ種苗が漁獲対象となる令和7年度以降、「うに祭り」が再開できるよう町として準備を進めていきたい。



「うに祭り」は、集客力があり、町内の経済効果も高い



高松 亮裕議員

中央牧場異臭の 早期改善を

問

高松 議員

中央牧場が完成して
から異臭に対する苦情
が寄せられてきた。同
牧場は町の異臭解消の
要請を受け、いくつか

四者で協議し 解決を目指したい

答

産業振興課長

の改善策を行ったよう
だが、2月の町政懇談
会では大和地区や笛舞
地区から依然として異
臭がするとの意見が寄
せられた。

せつかく当町にきて
くれた企業であり、長
く留まってもらいたい
が、このまま問題が長
期化し、住民の不満が
増大していけば信頼関
係が崩壊する懸念があ
る。
要請して終わりでは
なく、町や漁協が積極
的に協力し、各地の異
臭対策の事例を研究・
協議して効率的な対策
を講じるべきではない
か。

完成当初より弱い東
風が吹いた際に悪臭の
苦情があり、同牧場に
対し改善するよう要請
してきた。

町としては、町内初
の大規模な養豚農場で
雇用の創出の場でもあ

り、町民の理解が得ら
れた中で稼働されるこ
とが一番大切であると
考える。

今後、同牧場と地域
住民・町・漁協など関
係機関との対話の場を
設け、意見交換を行い
お互いに現状を理解し
た中で、一日も早い異
臭問題の解決を目指し
ていきたい。

また、異臭センサー
等を用いての臭気の数
値化や発生源の特定な
ど、同牧場と協議し、
導入を検討したい。



多くの施設が建ち並び
中央牧場えりも農場

おかまわり状況把握の アンケート調査は

問

高松 議員

昨年6月議会で昆布
おかまわり不足に関す
る一般質問をした際、
令和4年度中に漁協と
協議の上、アンケート
調査を実施するとの答
弁であった。
3月16日時点で、ま

3月中に アンケート用紙を配布

答

産業振興課長

だ行われていないよう
だが、アンケートの調
査内容、項目は決めて
いるのか。いつ頃実施
する予定か。

現在、漁協と協議し
ており3月中に各漁業
者へアンケート用紙の
配布を予定している。
①おかまわり不足の
有無

②「生昆布だけ」か
「二日中」か

③採り昆布漁の無い日
の雇用は

などの項目を考えてい
る。

アンケート調査の結
果、おかまわりを必要
とする漁業者の求人情
報は町民に提供してい
きたい。

町内で対応が難しい
場合でも、えりも町同
様、近隣町もおかまわ
り不足であると考えら
れるので、労働力は期
待できない。
都会から来てもらえ



れば解消できると思っ
たが、7月から9月まで
の約3か月間えりも町
に滞在し、昆布漁のあ
る日のみの従事では滞
在費を考えても現実的
では無い。
リモートワークがで
きる方に従事してもら
うことも考えられるが、
滞在先の確保などの課
題も多い。
いずれにしても、ど
のような方策が考えら
れるのか漁協と協議し
ていきたい。

今年の昆布漁も2か月後に迫り、おかまわりを
確保することは漁業者の大きな課題となっている



中野 公浩議員

郷土資料館の活用を

他の施設と連携しながらサービスに努めたい

問 中野 議員

映画「北の流水」(仮題)が9月から撮影開始となるが、映画が公開されれば観光客の増加が見込まれるので、町は映画公開後の観光客の受け入れ態勢を準備する必要があると思

うが、郷土資料館を活用してはどうか。
①映画撮影で使用した物品やセット、撮影風景などを展示して記念撮影が出来るようにする。

②襟裳岬の岩礁のジオラマとアザラシの模型を前に撮影できたり、コンボポートクルーズ体験と豊似湖のヘリコプター搭乗のVR体験をできるようにする。

③休憩や飲食ができる場所を設け、小中高生や観光客も利用できるようにする。
④町外の方も利用可能な小規模な会議室を設ける。

答 企画課長

①映画公開後には、その効果による観光客の増加等も見込まれることから、受け入れ態勢等の整備を行っていく必要があると考えている。

その映画の著作権や俳優の肖像権について、映画製作委員会等の関係機関と協議の必要が

あると考えるが、映画に関する展示やセットの保存等については可能な限り活用していきたいと考えている。

答 社会教育課長

②集客効果が高まることが考えられるが襟裳岬「風の館」とも連携・調整しながら、また費用対効果等も含め検討したい。

③休憩や会議は、体験学習室を利用してもらっている。
④町での会議が難しくければ福祉センターの会議室を利用願いたい。



郷土資料館へ映画に関する展示ができないか

診療所の体制について

・現在 医師2名体制で稼働。

小山 所長→令和7年3月31日まで任期更新
蛭田副所長→令和5年9月30日まで任期更新
※全員協議会終了後、蛭田副所長は令和6年3月末日まで任期更新の承諾を得たとの報告があった。

看護師 8名 会計年度任用職員 5名 計13名

看護師の夜間勤務者が少なく、体制の維持が困難になる懸念がある。

町からは、知人や親戚等に看護師の方がいれば、紹介してほしいとの依頼があった。

議員の意見

- ・夜間勤務専属の看護師を募集してはどうか。
町：ハローワーク等に求人を出しているが、都市部に看護師が集中している。夜間勤務を敬遠する希望者がほとんどである。
今後の動向を見ながら検討していきたい。
- ・医師の紹介や派遣を、過去に診療所に勤めていた医師をお願いしてはどうか。
町：医師を探す選択肢は多い方がよいので検討していきたい。

全員協議会

2月24日実施

旧東洋小学校の現状について

令和3年3月に廃校となり、その後、町ホームページ等で公募したが、数件の問い合わせはあったものの、購入には至っていない。

令和4年12月に屋上防水シートが暴風によって剥がれ、校舎内が漏水した。

議員の意見

- ・災害復旧の用途は。後利用希望者が現れた場合、復旧していないと利用する意欲が薄れるのでは。
町：希望者と協議しながら進めていく。
- ・保険の加入状況は。
町：加入しているが、老朽化による防水シートの被災であれば、工事費の50%程度しか補償されないとのこと。復旧しない場合でも工事費の10%が補償されるが、それらも含めて検討したい。



被災した屋上は、コンクリート製の重しによって、一時的に復旧している

所管事務調査

産業民生常任委員会
 委員長 高松亮裕
 副委員長 渡部 泰
 委員 大坂庄吉 竹内孝文
 中野公浩

調査日 令和5年2月14日(火)

赤潮の現状について

令和3年9月に発生した赤潮被害は、当町においてもウニやタコ、ツブ類を始めとした多くの魚種に甚大な被害を及ぼした。産業民生常任委員会では、長期的に被害の実態を把握し、支援につなげる必要があるとして、令和4年2月から令和5年2月まで3回の調査を実施し、今回総括を行った。

【1】被害状況

赤潮発生以前の令和2年と発生後の令和4年を比較した。

ツブ類が23.6%、タコが32.4%と大幅な漁獲量減少が見られた。

ウニについては令和4年度の水揚げがゼロであった。減少をみると、赤潮の影響は大きかったと思われる。

なお、ナマコ、ホッキの漁獲量は、赤潮発生前と比べて減少していない。

【2】環境調査

①ウニ漁場

赤潮発生後に全地区の海域が調査され、一部の水深が深いエリアでは小さな個体を確認したものの、ほぼ壊滅状態であったという。令和4年に放流されたウニの種苗は、順調に成育している。



順調に成育している、放流されたウニ（えりも岬地区）

②ツブ漁場

北海道水産試験場と共同で、水中ドローンを使った海中調査が行われている。赤潮被害前の様子とは比較できないが、数個のツブを発見できている。死がいも見られるが、大量へい死の痕跡は確認されていない。今後も採水調査を含め、関係機関と連携して調査は継続されていく。

各地区のツブ漁場では、資源量調査が行われているが、かごにツブはほとんど入っていない。

③ナマコ漁場、ホッキ漁場

赤潮発生後の調査でも生存を確認できている。

【3】資源回復事業の実施状況

①北海道の地域づくり交付金を活用し、令和3年度にツブの資源量調査を行っている。

②国の水産多面的機能発揮支援対策事業として、本年度に町内産及び道東産のツブを買い上げ、標識をつけて40万個を目標に放流している。また、コンブを着生させるためのバックホー等による磯掃除も行っており、令和5年度においても実施予定である。

③町の単独補助として、ウニ種苗購入代金を全額補助している。購入補助は令和7年度まで継続する予定である。

【4】まとめ

赤潮という想像すらしなかったことが起こり、漁業を柱とする当町にとっては今後のまちの未来を左右する出来事であったと思う。町ではさまざまな調査、そして漁業者への支援を行っているが、魚種別の被害額が算出されたことでもあり、被害者に対する補償も熟慮願いたい。

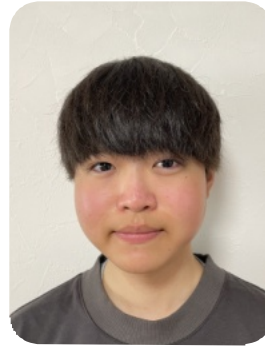
豊かなえりもの海が一日も早く復活することを願うが、これを機に、将来にわたって安定した漁獲が確保できるよう、生態解明や「育てる漁業」のさらなる推進に官民挙げて取り組んでいかれることを強く望むものである。

この人に聞く

神奈川県から えりも岬へ

銅谷虎二さん所有の漁船
第五十五日高丸の乗組員
ちばかいせい

千葉海星さん (19)



▼漁師を目指すきっかけは

昨年5月、漁師を目指していた従兄に「北海道漁業就業支援フェア2022 in 札幌と一緒に行かないか」と声をかけられ、参加することになりました。その時、親方である銅谷さんと面談して興味がわき、8月に1週間の漁業体験をした後、不安もありましたが11月にえりもに来ました。

▼仕事はどうですか

12月のカニかご漁から船

に乗りましたが、酔わなくなるのに1か月くらいかかりました。体力がないので力仕事はまだです。ロープの結び方や漁師独特の言葉など、覚えなければならぬことが山積みです。

▼趣味や好きな食べ物は

休みの日や暇な時はゲームをやっています。自炊しているので料理もできるようになりました。カレーが得意です。お菓子もたまに作ります。ジנגスキャンがおいしいですね。

議会の動き

2月14日	産業民生常任委員会 所管事務調査
2月24日	全員協議会
2月28日	議会運営委員会
3月 1日	えりも高等学校 卒業証書授与式（議長出席）
3月 7日	全員協議会 第6回定例会招集
3月16日 17日	第6回定例会及び 予算特別委員会 広報広聴常任委員会
3月24日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
3月29日	広報広聴常任委員会
4月 7日	えりも高等学校入学式 （議長出席）
4月10日	広報広聴常任委員会

▼今後は

車の免許はありますが、車がないので欲しいなあと思っています。
仕事を早く覚えられよう頑張りたいです。



カップパ姿も様になって
います



真剣な顔で
カニかごを修理

「海のことやまったりくわからない中、へこたれずに頑張ってくれている」と親方の銅谷さん。
海星さんのような若者が増え、乗組員不足の解消につながればと思います。

（取材・上野）

編集後記

議会だよりは、このメンバーでの作成は、今号で最終号となりました。

他町村では議会事務局や外注での作成が多いと聞きますが、当町では、議員自身編集・校正しており手作り感が満載です。議会の様子やわかりやすく伝えるため、広報委員会で悪戦苦闘しながらもなんとか発行できています。

今年度も新型コロナ、赤潮被害、物価高騰などの影響が心配されるため、予算は町内経済の活性化や漁業支援などが考慮された内容となっております。課題は山積していますが、町全体が一丸となって難局を乗り切る気持ちで大事です。

また、編集・取材に協力していただいた方々に改めて感謝いたします。（橋本）

広報広聴常任 委員会委員

委員長 橋本 維広

副委員長 高松 亮裕

委員 竹内 孝文

委員 神田 修

委員 上野 陽司